



未来を夢見て

2021/2/9 No. 58

立春を過ぎて どこかで春が ~卒業式まで あと27日~

立春が過ぎても、まだまだ寒い日が続いています。でも少しずつ春の息吹を感じる季節になりました。この時期近所の天満宮の境内を眺めると、梅の花が咲き始め春がそこまで来ていることに気付かされます。また、その側の公園では見事に「黄梅」が鮮やかな黄色い花を咲かせていて目を和ませてくれました。まだまだ一分咲き程度ではありますが、蕾はみんな膨らんで、一斉に花を咲かす時期を探っているかのような風景でした。



一方、週末そして今朝はまたまた大雪に見舞われました。今年には本当に雪が多いですね。今朝も学校に着くと、既に教頭先生方や今野さん、杉元さんが除雪を行ってくれていました。また、子供たちの通学路は地域の皆様がいつもきれいに除雪してくださっています。



子供たちにとっては、またとない贈り物で、金曜日の1時間目の校庭では、早速担任の先生と一緒に雪遊びをしたり、業間休みは、雪合戦で歓声を上げていたりする子供たちの声で一杯になりました。



さて、先週から6年生の各学級を伺って、1時間、教室の中で過ごさせていただいています。担任の先生方には「さっさと入って、すっさと出て行くので紹介等は一切必要ありません」とお願いしています。2月22日(月)から6年生で授業をさせていただくので、その前に教室の雰囲気を感じておくことが目的です。教室で目を惹くのは、どの学級も「卒業式までのカウントダウンカレンダー」が掲示してあることです。カレンダーには、クラスメートに向けたメッセージも丁寧に書いてあり、6年生の子供たちの気持ちがしっかり3月19日(金)に向かっていることを感じました。



そして、何より嬉しかったのは、どの学級も担任の先生と子供たちの距離がとても近く感じられたことでした。先生の発問へのつぶやき、必要なザワザワ、そして指名されたときの様子など、6年生の先生方が1時間1時間を大事に今日まで指導されてきたことが、子供たちの姿で伝わってきました。

先日ある会議で、「校長先生方の学校経営の理念は子供たちの姿で具現化されていますか」と問われました。まさに今の6年生の子供たちの学ぶ姿にそれが表れているように私は感じました。

各学級の様子分かって、私も授業プランが立てやすくなりました。週末、もう一度じっくり教材研究をしてみたいと思います。

(文責：手代木)